

稲作だより

～第7号 茎数確保・中干し編～

生育のバラつき大きい！圃場に合わせた管理を!!

6月19日現在の生育は、平年並みの生育となった圃場が多い一方、移植が遅かった圃場、深水となっている圃場では依然として茎数が少ない状況です。

茎数が不足している圃場では浅水管理とワキ対策を継続して茎数確保に努め、有効茎数を確保した圃場から中干しに入りましょう。

1 生育概況（6月19日普及課調査結果）

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (尾花沢市尾花沢)	本年	31.8	311	7.2	38.3
	平年	30.5	309	7.2	38.1
	平年比・差	104	101	±0.0	+0.2
つや姫 (村山市河島)	本年	35.9	399	7.9	42.0
	平年	35.1	343	7.2	41.4
	平年比・差	102	116	+0.7	+0.6
雪若丸 (東根市野田)	本年	27.2	427	7.9	47.6
	平年	29.6	451	7.8	45.5
	平年比・差	92	95	+0.1	+2.1

2 当面の技術対策

(1) 茎数確保が遅れている圃場では、浅水管理とワキ対策で茎数確保を！

- ・茎数不足→水深2～3cmの浅水管理（夜間や早朝に水を入れ、水温・地温を高める）
- ・土壌の「ワキ」や葉色の低下→すぐに（夜間）落水し、水を交換する。

◎以上の対策を行い、7月初旬までに目標茎数を確保します。

目標茎数を確保したら中干しに入りましょう。

各品種の有効茎数の指標

品種	株あたり茎数		目標穂数 (本/m ²)
	坪70株植え	坪60株植え	
はえぬき	22本	26	480
つや姫	19本	22	410
雪若丸	26本	30	560

(2) 中干し

【中干し終了の目安】

- ・地力と生育量に応じて中干しの程度を調整します。

地力と生育量に応じた中干し終了の目安

地力と生育量	中干しの目安
地力：低～並 生育量：並～良	7～10日程度 田面に小ヒビが入り、歩ける（足跡が残る）程度
地力：高 生育量：過多	11～15日程度 根の損傷を防ぐため、黒乾亀裂ができない程度 生育量が過剰の場合は走水を行いながら強めの中干し

【中干しの効果】

- ・根の健全化・伸長促進
- ・過剰な無効分げつを抑制する。

(3) 作溝

【作溝施工の目安】

- ・地面が少し硬くなった段階で作溝を掘る。
- ・間隔は3～5mを目安に、圃場の乾きやすさによって加減する。

【作溝の効果】

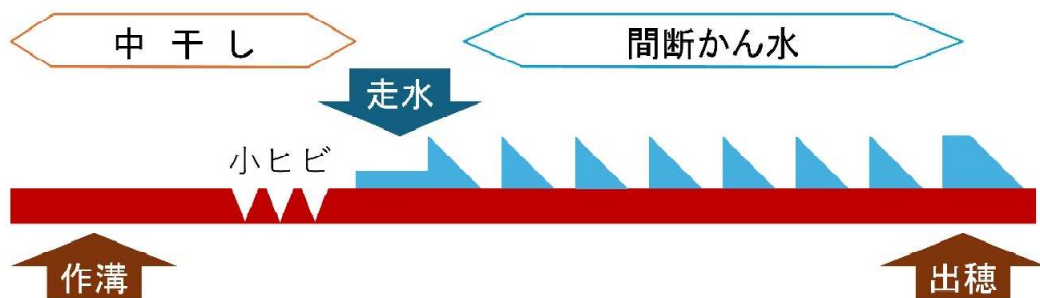
- ・中干しの効果が高まる。
- ・効率よく圃場全体に水を行き渡らせることができ、中干後の水管理が容易になる

(4) 中干し後の水管理

- ・中干し直後は一気に湛水せず、作溝に水を通す走水とし、根を徐々に水に慣らしませす。
- ・その後、出穂まで間断かん水を繰り返します。

◎大切な用水です。土地改良区等の情報を基に、適期・適正にかん水を行いましょう。

【中干し後の水管理のイメージ】



(5) いもち病に注意！！

- ・梅雨入りし、今後はいもち病の発生が懸念されます！
- ・感染源となる取り置き苗を置いている場合は今すぐに処分しましょう。
- ・圃場をこまめに観察し、早期発見早期防除に努めましょう。

◎農作業安全を徹底しましょう！熱中症対策も忘れずに！！
水分、ミネラルを十分に補給。こまめに休憩をとりましょう